

編集室から

例年、一高校野球ファンとして、母校が甲子園の県予選で敗退となったところで、夏の半分は終わったように感じます。CSR推進室に異動して初めてとなる今年の夏は、7月22日でその半分が終わりましたが、残りの夏は、今号で取り上げた、北海道黒松内町での北限のブナ林保全活動と9回目となった富士山清掃活動に励みました。いずれも暑い中、熱中症に配慮しながらの活動となりましたが、参加者は楽しみながらも真剣に取り組んでいました。

北限のブナ林でのボランティア活動は今年初めて実施しま

した。今回下草を刈った敷地で育てられているブナの苗木は、当社の信託商品を通じて寄せられた寄付金などで取得したナショナルトラスト地に移植される予定です。

一方、富士山清掃は当社の社会貢献活動の中で最も長く続いている活動ですが、今年は参加募集してあつという間に定員に達するほど、社内では人気のイベントです。

こうした活動は続けていくことに意義があると思います。1つ1つは地道な活動ですが、日本の生態系維持のため継続的に取り組んでまいりたいと考えています。(副編集長T.I.)

表紙のトラスト地紹介

富士山高原トラスト(山梨県)

「富士山高原トラスト」は、山梨県富士河口湖町にある原野で、初夏には若草の緑、秋には一面のススキ原と、四季折々の美しい富士の山容が堪能できるトラスト地です。

富士山麓の一帯は、高度経済成長期には、将来的な値上がりをうたい土地を切り売りする原野商法の対象とされました。また、その美しい眺望や都心からの良好なアクセスゆえに、次々と別荘地の開発が進み、多くの貴重な自然が失われた経緯があります。

現在、富士山麓の土地の多くは国有林ですが、トラスト地のある山梨県側の一部は私有地となっており、開発の危険が高いエリアとなっています。本トラスト地も、富士箱根伊豆国立公園に指定されていますが、「普通地区」という規制の緩い地域のため、土地所有者による開発は自由です。世界遺産登録に向けた動きが活発化する中で、再び開発圧力が高まりつつあることから、「日本ナショナル・トラスト協会」は、日本の象徴ともいべき富士の歴史と文化、そして本来の自然を後世へ伝えしていく場所として、永久に保全するため、2007年にこの土地を取得しました。



雲の合間にのぞく富士山

食卓からエコ! かんたんエコレシピ

カブの葉やむいた皮、捨ててしまってはいませんか? カブは部位ごとにいろいろな栄養を含み、丸ごと食べられる万能食材。部位の特徴を活かした簡単エコおかずを一品プラスしましょう。

カブのわさびマヨネーズ和え

ポイント
「カブの葉・皮もまるごと調理」
カブの根はもちろん、葉にはβ-カロテン、ビタミンCなど、沢山の栄養が含まれます。蒸し煮することで栄養や旨みを逃がさず、生ゴミも出ないので一石二鳥です。

作り方

1. カブは2~3mmにスライスし、塩少々をふってしんなりしたら軽く水気を絞ります。
2. カブの葉は2~3cmに切り、少量の水で蒸し煮にします。油揚げはフライパンに中火で両面焼き、短冊切りにします。
3. Aを混ぜて1,2を和えて盛り付けます。

材料(2人分)

カブ 2個
カブの葉 適量
油揚げ 1/3枚
A
マヨネーズ 大さじ1
わさび 小さじ1/2
醤油 少々



With You活動のより詳しい情報は、
WEBサイトでも紹介しています。

<http://www.smtb.jp/csr/withyou/>

With You支店ブログ
<http://branchblog.smtb.jp/>

三井住友信託銀行の
キャラクター
シンジル&タクセル



VOC
FREE



ユニバーサルデザイン(UD)の
考えに基づいた見やすいデザ
インの文字を採用しています。



三井住友信託銀行は
ピンクリボン運動を応援しています。

With You

2012年 社会貢献活動レポート vol.2

• Special Topic

救える命を守りたい — ピンクリボンフェスティバル —

• わがまちの自慢 vol.2

日帰りで海外!? 日本のハワイ 鳥取支店

• 支店活動紹介

静岡・静岡中央・甲府・沼津支店 札幌・札幌中央支店
前橋支店 日本橋営業部

• トラスト地紹介

富士山高原トラスト(山梨)



救える命を守りたい —ピンクリボンフェスティバル—

三井住友信託銀行は、お客様を「健康」という面からも応援したい、という思いでピンクリボン運動に協力しています。毎年10月に行われる乳がん検診の啓発イベント「ピンクリボンフェスティバル」について、主催団体である公益財団法人日本対がん協会の岸田浩美様にお話を伺いました。

日本女性の16人に1人は乳がんに

生涯に乳がんを患う日本女性は16人に1人と言われ、年間約5万人が新たにかかります。乳がんは早期発見で90%以上が治るとも言われる、治癒率の高い病気です。しかし日本では検診の受診率がまだ低く、命を落とす人も少なくありません。救える命を守りたい、乳がん検診の大切さを広め、早期発見・早期治療につなげたい。そんな思いで、ピンクリボン運動を展開しています。

10年目を迎える ピンクリボンフェスティバル

毎年10月に現在、東京、名古屋、神戸、仙台の4都市で、ピンクリボンフェスティバルを開催しています。今年で東京では10年目を迎ますが、ウォーキングイベントやシンポジウムの開催で、ピンクリボン運動の認知度は徐々に上がっていると思います。

(公財)日本対がん協会
ピンクリボンフェスティバル担当
岸田 浩美 様

わがまちの 白慢 vol.2



日帰りで海外!? 日本のハワイ

鳥取支店

山陰地方で唯一の信託銀行、三井住友信託銀行鳥取支店。当店はJR鳥取駅前より徒歩3分、駅前の主要通りのひとつ「太平線通り」の入口に面しています。私たちの鳥取県は、人口が少ない小さな県ですが、実はかつて総務省の「ボランティア好きランキング」で日本一に輝いた、まごころとバイタリティあふれる県なのです。

山陰八景のひとつ、日本海に程近い東郷湖は、湖底から温泉が湧き出る全国的に珍しい湖で、湖畔は風情ある温泉地になっています。その中にあるのが「羽合

(はわい)温泉」。日本のハワイとして過去にTVCで有名になりましたが、今では湯梨浜町の一部として地名が残っています。その名の通り、街にはショッピングモールやハワイ海水浴場、そして夏のハワイアンフェスティバルでは全国各地のフラダンスチームが南国ムードを盛り上げます。

秋には紅葉も楽しめるのが、日本のハワイならではの風情ですね。皆さんも、この秋は湖畔の「はわい温泉」でゆったりと、山陰の味覚を味わってみてはいかがでしょうか。

鳥取支店
(左から) 田中 喜代、岸本 紗衣、井上 雅代
はわい温泉へのアクセス
JR倉吉駅下車、バス(橋津方面行き)15分



支店活動紹介

環境・生きもの応援活動

静岡・静岡中央・甲府・沼津支店

小さな力が生み出す大きな変化 ～毎年恒例の富士山清掃～



に、観光客や不法投棄による深刻なゴミ問題があります。

当日は3グループに分かれて約1時間半、涸沢(かれさわ)の清掃を行いましたが、延々と続くゴミの景色に仰天。引率していただいたNPO富士山クラブの方によると、最近は多くの人の清掃活動により、以前に比べればゴミの量が減ってきたとのことです。一人一人の力はわずかでも、清掃活動の成果は着実に表れているんですね。

いつの日か、ゴミひとつない綺麗な富士山になる日を夢見て。私たちはこれからも、地道な清掃活動を続けていきます。

富士山は、国内外から年間300万人もの観光客が訪れる、世界有数の観光スポットですが、ゴミの多さでも有名です。世界遺産登録に向けた長年の運動にも関わらず実現していない理由のひとつ

静岡中央支店
池田 由美

環境・生きもの応援活動

札幌・札幌中央支店

日本最北端のブナを守る ～北限のブナ林の下草刈り～



持つことから「緑のダム」と呼ばれ、日本人の暮らしを守ってきました。しかし近年の開発などで、日本各地でブナ林が消滅しています。北限のブナ林は、人々の手で大切に守られてきた貴重な原生林です。今回の作業では、数年前に植樹したブナの苗木の成長促進のため、苗木の周りの下草刈りをしました。

ブナの花言葉は“勇気”、樹木は“繁栄”をあらわし、東日本大震災からの復興を目指す日本にとつて象徴的な樹木です。今後も両支店力を合わせ、地域の環境保全に取り組んでいきたいと思います。

札幌中央支店
松本 龍一郎

地域・社会サポート

日本橋営業部

100年を越える歴史を磨く ～日本橋の橋洗いに参加～



ず、正しい情報から理解を深めることも大切です。また、他人や社会との関わりを持ち続けることも重要です。そして、これから生き方や病気への対処を、自分の意思で選択していくことが、自尊心のある、自分らしい生き方につながります。

暮らしの質を保ちながら、幸せに長生きすることは、お客様はもちろん私たちにとっても大きなテーマです。これからも、お客様の幸せな暮らしをお手伝いできるような活動を行っていきたいと思います。

過去100年で平均寿命が約40年も伸び、世界的に見ても長生きの人が多い日本において、いきいきと幸せに長生きするためには何が重要なのでしょうか?何よりも基本は健康を保つこと。食事や運動、睡眠への配慮はもちろん、病気をやみくもに恐れ

前橋支店
田中 裕己



昨年架橋100周年を迎えた東京都の日本橋では、毎年7月に橋を美しく保つための「橋洗い」が行われています。1968年から続くこの催しは、日本橋地区の夏の風物詩となっています。

今年は地域にお住まいの皆さまや近隣の企業の方約1,600人以上が参加。私たち日本橋営業部からも、社員とその家族21名がはっぴを着て橋洗いに加わりました。

当日は、主催団体の「名橋『日本橋』保存会」による開会挨拶のあと、日本橋川の浄化のため、

EMだんご(有用微生物のヘドロ浄化だんご)を川に投入。そして、消防団が散水した橋を皆でたわしゃデッキブラシでごしごしと磨きました。橋の中央に埋められた銘盤「日本国道路元標」は、江戸時代に定められた五街道の起点であり、現在は国道の距離の計測起点にもなっています。こちらも綺麗に洗い上げ、1年分の汚れを落としました。

日本橋の橋洗いは、地域の方々と近隣の企業社員が交流する貴重な機会です。来年も、地域の一員として参加していきたいと思います。

日本橋営業部
河西 謙